

# TNTMips ニュースレター — TNTscript の発売について

2015 年 3 月

## ローカルまたはクラウドコンピューティングリソースを使った地理空間処理の自動化

TNTscript は地理空間データの自動処理のために作られたマイクロイメージ社の新製品です。TNTgis 地理空間処理言語 (SML) で書かれたスクリプトを使用します。TNTscript は TNTgis Pro 製品がインストールされていない他のコンピュータ上で SML スクリプトを実行することを可能にします。あなたが TNTmips Pro または TNTedit Pro を使って SML 処理スクリプトを開発する場合、TNTscript は他のコンピュータ上やリモートサイト、クラウドコンピューティングリソースを使用してこれらのスクリプトを実行することができます。

## 製品の複合的ワークフローに TNTgis 処理を統合

TNTscript を使用すると、複数のソフトウェア製品とカスタムプログラムを利用して、強力で効率的な TNTgis 地理空間処理を、自動化されたワークフローに統合できます。ワークフローを監視するカスタムプログラムは、必要に応じて TNTscript を呼び出し、SML スクリプトとコマンドラインで必要なスクリプトパラメータを指定し、XML 形式のテキストファイル (SMLX) を生成してこの情報を伝えます。この処理スクリプトによって生成されたデータは、その後もワークフローを通して各ステップに応じて渡すことができます。

## SML スクリプトを柔軟に制御

地理空間 SML スクリプトはシェル、バッチ、bash や Python 等の様々なタイプの制御スクリプトを通して実行できます。ランタイム TNTscript は、TNTmips Pro に機能的に備わっているすべての非対話的 SML 処理機能を提供するプログラムで、Windows または Mac OS で実行可能です。これはユーザインターフェイスはありませんが、コマンドラインから手動で、または別のプログラムによって起動されます。TNTscript は処理中にユーザの操作なしで SML スクリプトを実行します。処理開始時に固有の変数データ全てが TNTscript によって SML スクリプトに渡されます。

## オンデマンドで地理空間製品を作成

新しいデータが届いたときに実行するスクリプトを設定しておけば、自動的にユーザのワークフローにデータを入れることができます。あるいは、内部または外部の顧客のために Web インターフェイスを作成し、地理空間製品のリクエストに対して自動的に生成・送信が可能です。

## TNTscript で何ができますか？

TNTscript ライセンスにはランタイム TNTscript の実行可能ファイル (専用インストーラ付き) と TNTview 用のプロフェッショナルライセンス (TNTgis インストーラを使用してオプションをインストール) が含まれています。TNTview から、SML スクリプトを編集・テストするための SML スクリプトエディタが使用できます。TNTscript をターゲット製品に設定すると、組み込まれているスクリプト用マニュアルには、使用できない関数やクラス (それに関連するポップアップダイアログ、表示ウィンドウ等の GUI コンポーネント) が示されます。TNTview から完全にインタラクティブなスクリプトを書いて実行することができます。

TNTscript web page: <http://www.microimages.com/products/tntscript.htm>

Technical Guide: <http://www.microimages.com/documentation/TechGuides/81TNTscript.pdf>

★ 2015 年 5 月 31 日まで特別価格で提供いたします。(2015 年 4 月 2 日現在 : 為替状況により変わります)  
シングルライセンス ¥140,000 / フローティングライセンス ¥168,000